

**■投稿規定** 2017年2月28日改定**1. 投稿内容**

「研究」「事例報告」「実践ノート」「短報」「紹介」の投稿を随時受け付けます。ただし、他誌に発表又は投稿中の論文はお断りします。著者は、著作権や研究対象者の倫理的配慮に努めて下さい。

**2. 著者について**

投稿者は原則として本会の会員に限ります。ただし、作業療法の発展に寄与すると編集委員会が認めた場合はこの限りではありません。なお著者数は原則として7名以内とし、それ以上の場合は投稿の際に理由を記した書面を編集委員会に提出して、その判断に従って下さい。

**3. 論文の種目と枚数**

論文の種目と原稿枚数は以下の通りです。なお原稿は一枚につきA4判用紙に20字×20行(400字)で作成して下さい。原稿枚数には本文、文献、図・表が含まれ、標題・著者名・所属等を記載した表紙頁や要旨は含みません。図表は1点につき原稿1枚に換算し、図・表1枚の仕上がりは1/4頁相当の大きさとして下さい。

- ①研究：実験、調査、事例研究、文献研究などから得た新知見を述べ、考察を加えるもの。独創性があり、結論が明確なもの。原稿枚数は25枚以内として下さい（図・表は併せて8点以内）。
- ②事例報告：対象者の治療に創意工夫が見られるもの、あるいは対象者の経過が示唆に富むもの。はじめに、事例（症例）、結果、考察、結語などでまとめ、原稿枚数は15枚以内として下さい（図・表は併せて5点以内）。
- ③実践ノート：施設、勉強会、地域などで取り組まれている活動について実践を報告するもので、原稿枚数は15枚以内として下さい（図・表は併せて5点以内）。
- ④短報：「研究」のミニ版。研究の見通しがついたので緊急に報告しておきたい時に書く。原稿枚数は12枚以内として下さい（図・表は併せて3点以内）。
- ⑤紹介：自助具、新しい器具、検査用具、遊具の紹介、その他新しいアイデアを紹介したい場合を書く。原稿枚数は12枚以内として下さい（図・表は併せて3点以内）。

原稿枚数は遵守して下さい。但し、編集委員会が認めた場合、枚数制限の超過が許可されることがあります。

**4. 原稿の採否**

原稿の採否は編集委員会において決定します。査読委員による査読終了後、加筆、訂正等を願うことがあります。掲載は受理日順を原則とします。

**5. 著者校正**

原稿の採否決定後の著者校正は原則として1回とします。なお、校正時の大幅な文章変更は認めません。

**6. 投稿料・別刷り**

投稿料は無料とし、投稿者に別刷り30部を無料進呈します。なお、増刷希望分については実費請求させていただきます。カラー印刷を希望する場合は、著者の実費負担となります。

**7. 投稿の手続き**

原稿は正1部、副2部をお送り下さい。尚、「投稿原稿チェックリスト」（巻末参照）を必ず添付して下さい。提出された原稿はお返ししません。投稿の際は、簡易書留またはレターパック（朱書きで「原稿在中」と表記）で下記宛に郵送して下さい。

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目

札幌医科大学保健医療学部作業療法学科内「機関誌北海道作業療法編集委員会」

※ 論文の二次使用权・許諾権は、公益社団法人北海道作業療法士会に帰属します。

## ■執筆要領 2016年12月30日改定

1. 原稿はすべて横書きとし，A 4判用紙に12ポイントの活字を使用し20字×20行（400字），マージン（余白）を上下左右40mmに設定して下さい（表紙頁を除く）。
2. 表紙頁の冒頭に種目（研究，事例報告，実践ノート，短報，紹介）を明記して下さい。
3. 表紙頁には，種目のほか，表題，著者名，所属，連絡先（Eメールアドレスを必ず記載すること）を記載して下さい。また，同じ頁に表題，著者名，所属に対応する英訳をつけて下さい。なお，著者の責任において，提出前に英語を母国語とする人の校閲を受けて下さい。
4. 2頁目に300字以内の要旨とキーワード（3個以内）を記載して下さい。
5. 3頁目から本文（はじめに，方法，結果，考察など），文献，図・表等として下さい。また，原稿には頁番号を付けて下さい。
6. 文章表現は以下の点に留意して下さい。
  - ①現代かなづかいとし，数字は算用数字，数量は国際単位を用いて下さい（例：cm，mm，m<sup>2</sup>，kgなど）。句点にはピリオド（.），読点にはコンマ（,）を用いて下さい。
  - ②外国の人名，地名には原語を用い，活字体で明瞭に書いて下さい。記述はできる限り訳語を用い，必要に応じて（ ）内に原語を入れて下さい。日本語化しているものはカタカナとします。
  - ③数字や外国文字は半角文字を使用して下さい。
7. 倫理上の配慮について
 

論文として掲載される研究は，調査・研究の倫理的原則に従った内容である必要があります。投稿者は研究対象者の権利を尊重した表現を行う義務があります。機関誌編集委員会は，必要に応じて，これらの事項に関する証明を投稿者をお願いすることがあります。なお倫理審査を経ている場合は，承認番号を記載して下さい。
8. 研究倫理について
 

研究倫理の十分配慮して下さい。得られたデータや結果を真正ではないものに加工する「改ざん」，存在しないデータや結果を作成する「捏造」，及び他者のアイデアや研究成果の「盗用」が不正行為に該当します。例えば，これまで発表されている論文を適切な引用なく流用することは「盗用」とみなされることがあるので十分に注意して下さい。また，同じ内容を投稿する二重投稿なども不正となります。
9. 文献は，引用文献のみとし，引用順に配列して下さい。表記の形式は以下の例にならして下さい。

### 論文を引用する場合（5名までを記載し，6名以上は「，他」として下さい）

- 1) 水野美穂，美和千尋，鈴木國文，向文緒：作業療法場面における療法士の位置の違いによる主観的および客観的变化。作業療法21：125-133，2002。

### 英語論文を引用する場合（5名までを記載し，6名以上は「，et al.」として下さい）

- 1) Dubois B. Slachevsky A. Litvan I. Pillon B：The FAB：a Frontal Assessment Battery at bedside. Neurology 55：1621-1626，2000。

### 本を丸ごと引用する場合

- 1) 中村隆一，齊藤 宏：基礎運動学。第3版，医歯薬出版，東京，1987。
- 2) Damasio AR：Descartes's error. Grosset/Putnam，New York，1994。

### 本で章を引用する場合

- 1) 富岡詔子，小林正義：作業療法の治療構造論。富岡・編，作業療法学全書第5巻作業治療学2精神障害，協同医書出版社，東京，1999，pp. 218-222。
- 2) 米倉豊子：内科的疾患に対する作業療法。原，鈴木・編作業療法各論（リハビリテーション医学全書10），医歯薬出版，東京，1978，pp. 393-406。

- 3) Reid J: Computer and occupational therapy. In Creek J (ed), Occupational Therapy and Mental Health. Churchill Livingstone, New York, 1990, pp. 267-288.

#### 訳された本を引用する場合

- 1) Pinel P (影山任佐・訳): 精神病に関する医学=哲学論. 中央洋書出版部, 東京, 1990.
- 2) Cook AM, Hussey SM (上村智子・訳): 作業療法実践のための電子支援技術. Pedretti・編著 (宮前, 清水, 山口・監訳), 身体障害の作業療法, 改訂第4版, 協同医書出版社, 東京, 1999, pp. 583-599.

#### ウェブから引用する場合

- 1) 岐阜県: 男女共同参画に関する県民意識調査報告書. (オンライン), 入手先<<http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/sl1123/chosa/mokuji.htm>>, (参照2007-01-31).
- 2) Chung JCC: Using problem-based learning (PBL) With HongKong occupational therapy students: Opportunities and challenges. Asian J Occup Ther 2: 10-22 2003. (on line), available from <[http://www.jstage.jst.go.jp/article/asiajot/2/1/10/\\_pdf/-Char/ja/](http://www.jstage.jst.go.jp/article/asiajot/2/1/10/_pdf/-Char/ja/)>, (accessed 2003-12-21).

#### 資料などから引用する場合 (著者: 引用資料の題名. 引用資料 巻: ページ, 発行年. に従って記述)

- 1) 米満弘之: 今後の地域リハビリテーション支援事業の取り組み. 全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会第2回研修会資料: 6, 2008.
  - 2) 池田望: 本当に作業療法士になりたい学生が減ってきているんじゃない?. 日本作業療法協会ニュース323: 12, 2008.
9. 図・表は以下の点に留意して下さい.
- ①鮮明でそのまま製版できるものを準備して下さい.
  - ②本文には組み込まず別に作成し, 図・表1点ずつ1枚として下さい. 写真も図として扱います.
  - ③図・表には全て表題をつけて下さい. 表題の位置は, 図の場合は図の下部に, 表の場合は表の上部につけて下さい.
  - ④本文中には図・表についての説明を述べ, 必要あれば本文の欄外にその挿入場所を明示して下さい.
10. 掲載が決定した時点で, 電子媒体で原稿を提出していただくことになります.

## 北海道作業療法 投稿原稿チェックリスト

投稿時に下記のチェックポイントで再度確認の上、✓を記入して下さい。  
初回投稿，再投稿に関わらず，投稿時には必ず論文に添えて提出して下さい。

	チェック項目	チェック欄
1	投稿論文の1ページ目に論文種目（研究，事例報告，短報，紹介など）が記載されていますか。	
2	投稿論文の1ページ目に表題，著者名，所属とそれぞれに対応する英訳が記されていますか。	
3	著者の人数は7名以内か，共著者からは論文投稿についての承諾を得ましたか。	
4	投稿論文の1ページ目に投稿責任者の連絡先（氏名，所属，住所，電話，Eメールアドレス）が記載されていますか。	
5	投稿論文の2ページ目に論文内容を具体的に表現した300字以内の要旨と3個以内のキーワードが記載されていますか。	
6	本文（はじめに，方法，結果，考察，文献など）は，12ポイントの活字で20×20行，マージン（余白）上下左右40mmに設定されていますか。	
7	ページ番号が付記されていますか。	
8	原稿枚数は，本文（はじめに，方法，結果，考察，文献など）と図表を含みます。各論文種目で設定されている枚数以内でありますか（「投稿規定」の項目3を参照）。	
9	倫理上の配慮を本文中に明記していますか。	
10	論文に研究目的が明確に示されていますか。	
11	文献は，引用順に配列し，「執筆要領」の項目9の形式に準じて記載されていますか。	
12	研究倫理を遵守した研究ですか？「執筆要領」の項目8を参照して下さい。	

論文表題

---

平成 年 月 日 筆頭著者名

---